

COPD(慢性閉塞性肺疾患)についてお話しします！

COPDってどんな病気？

COPDとは、肺気腫や慢性気管支炎も合わせた「慢性閉塞性肺疾患」という総称のことで肺の生活習慣病ともいわれています。

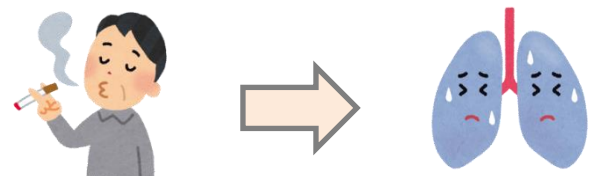
タバコの煙などの有害な物質を長い間吸い続けることにより、肺が少しずつ破壊されます。呼吸機能が低下し、空気が吸えない、吸った空気が吐き出せない状態になります。



COPDの主な原因は「タバコ」

COPD患者の90%が喫煙者と言われています。

一般的には、若い年齢で喫煙を開始した人、喫煙年数（20年以上）が長い人、1日に吸うタバコの本数（1日20本以上）が多い人ほどCOPDになるリスクが高いとされています。また、非喫煙者でも他人が吸ったタバコの煙を吸うことでCOPDを発症する可能性があります。

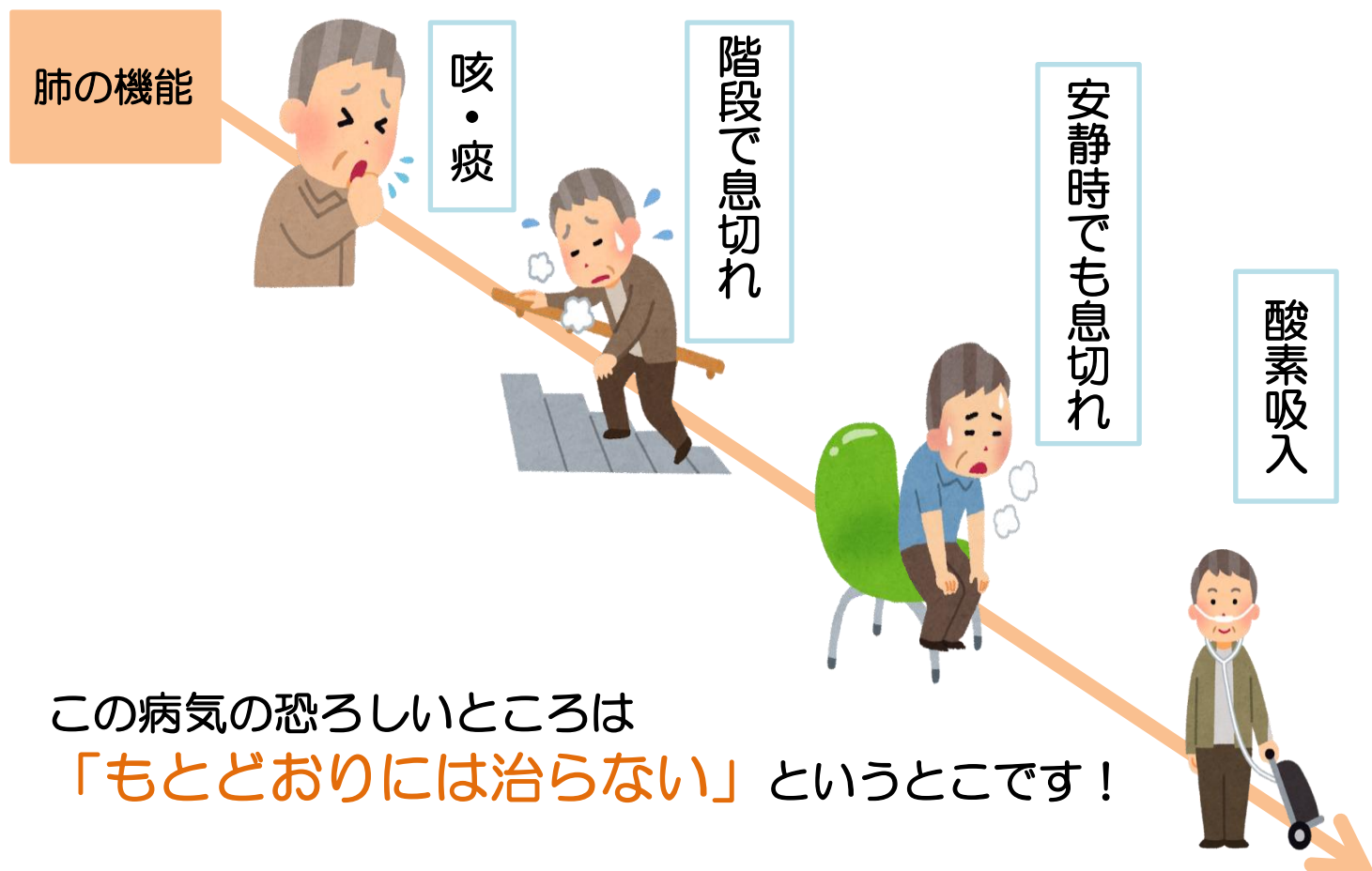


まずはタバコをやめてCOPDの進行を止めましょう！



COPD の症状とは？

初めは咳や痰が見られる程度ですが、肺機能の低下とともに動く
と息切れするため、知らない間に階段を使わなくなったり、坂道
を避けるようになります。COPD が進行すると安静にしている時
でも息切れするようになり、日常生活を送るためにはいつも酸素
吸入器が必要になることもあります。



COPD は治療を継続することが大切です！

COPD がどんな病気か、どんな症状か、どんな治療がある
か、生活上の注意点などを理解し前向きに病気に向き合っ
ていくことが大切です。

動き続けられる毎日のために、自己判断で治療を中断する
ことがないよう継続していきましょう。